

教育相談だより

教育相談室 令和5年10月

この原稿を書いているのは9月ですが、まだまだ暑い毎日で、運動部も熱中症に気を付けながらの練習が続いています。早く涼しい秋が訪れてほしいものです。皆さん前期末のテストはどうでしたか。点数に一喜一憂しながら、前期の成績が出るのをおっかなびっくり待っている状態でしょうか。3年生は就職試験が始まり、進学 of 皆さんも様々な推薦入試の準備に必死になっていることと思います。この時期で思い出すのが、「先生、私ストレスまみれです」と笑顔で話していた生徒です。就職試験も推薦入試等も、正解を探して日々、先生方と面接練習等をしています。そこでは正解の言葉を一生懸命探しているの、「言いたい放題」話すことは殆どないのではないのでしょうか。本校スクールカウンセラーの人見先生が、『スクールカウンセラーには「言いたい放題」本音を語ることが出来る。日常生活に登場しない大人だからでしょうか』と話されていました。正解探しに疲れ、「言いたい放題」したくなったら気軽に相談室を訪ねてみて下さい。10月号では2学年主任、長洲 直樹先生に寄稿して頂きました。

◆スクールカウンセラー 人見健太郎先生 来校予定

期日 10月 2日(月)、16日(月)、23日(月)
11月 6日(月)、15日(水)、20日(月)、27日(月)
12月 4日(月)、11日(月)

時間 8:50～11:50



※予定です。期日の変更、時間の変更等があるかもしれません。

場所 教育相談室(1号館1F保健室の隣)

○相談したいときは

- ①担任や教育相談係に伝える。
- ②学校に電話を入れて予約する。(電話029-224-4402)

* プライバシーは守りますので、安心して利用してください。

今回の文章は、自身の考えの一部をただ羅列しているだけなので、何を言わんとしているかは各々でご考察ください。

皆さんは学校に友達いますか？おそらくほぼ全員が「いる」と答えるかと思います。ちなみに私の答えは「いない」です。学校に友達と呼べる人は一人もいません。では、友達がなくて寂しいかといえば、それは「NO」です。なぜかという、「友達」はいませんが「仲間」がいるからです。

「仲間」という言葉を調べてみたところ、仲間の意味は「一緒に物事に取り組む人」だそうです。自分の中で仲間の定義は「一緒に物事に取り組む、同じ志を持った人」だと考えています。多くの先生方が同じ志を持つ仲間だと勝手に思っています。なので、学校の中で寂しいと思ったことは一度もありません。

では、仲間だとは思っていない、それ以外の人は？という、「集団」の中にいる人だと思っています。集団の意味は「ひとまとまりにされた、またはひとつのまとまったものの全体」だそうです。であれば、集団とは、たまたま同じ場所に居合わせた、ひとつのかたまりでしかなく、主義や主張は人の数だけあるし、自分と合う・合わないという人も当然出てきます。たまたま居合わせた人達に自分が必要以上に合わせる必要もなければ、自分がどう思われようと、痛くも痒くもありません。ただ、集団の中であっても、相手の気分を害するのはよくないので、自分から話しかけるときは当然気を遣いますし、言葉も選びます。ちなみに、言葉遣いができない、気を遣わない、遣えない、自分の都合しか考えない人とは極力交わらないよう常日頃から心掛けています。

自分本位で、相手の気持ちを考えられない人間のために、自分自身が悩む必要など微塵もありません。相手にするだけ時間の無駄だと考え日々生きています。個人の考えです。

2学年主任 長洲 直樹